

KN グローカルリサーチレポート

2024年1月
No.93



新年おめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。
本年はどのような年になるのでしょうか？ 円安基調はいつまで続くか、物価は上昇し続けるか、賃金は、人手不足、外国人労働者、温暖化対策、海外進出、AIの活用、DX、データ経営…。VUCA の時代、社会環境の変化に柔軟に対応したいと考えます。

浜松地域の消費者物価 約8%上昇

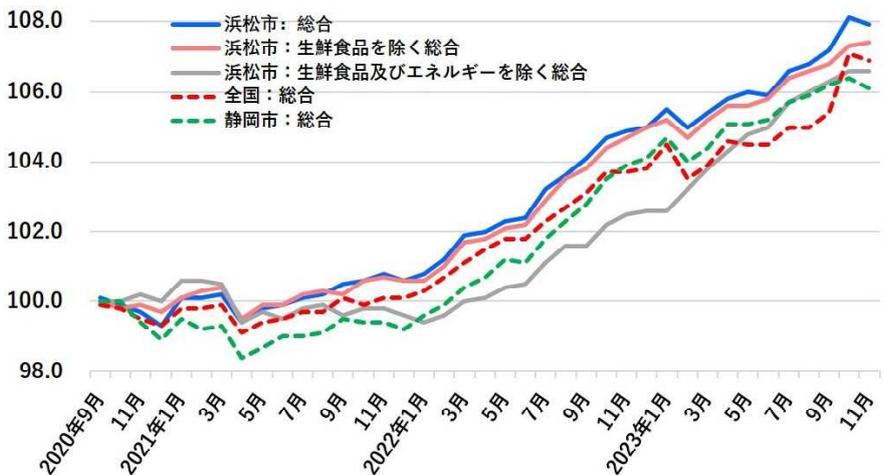
総務省の『消費者物価指数』統計によると、11月の浜松市の消費者物価指数(総合)は107.9で、前月比▲0.2%、前年同月比2.9%上昇した。2020年冬頃より3年間で約8%物価が上昇した。

1990年代以降、日本の消費者物価はほとんど変化しなかったため(全国の2020年の指数を100とすると、1995年から2020年の25年間で、95.9から100.0まで4.1%上昇した)、急激な値上がり感がある。

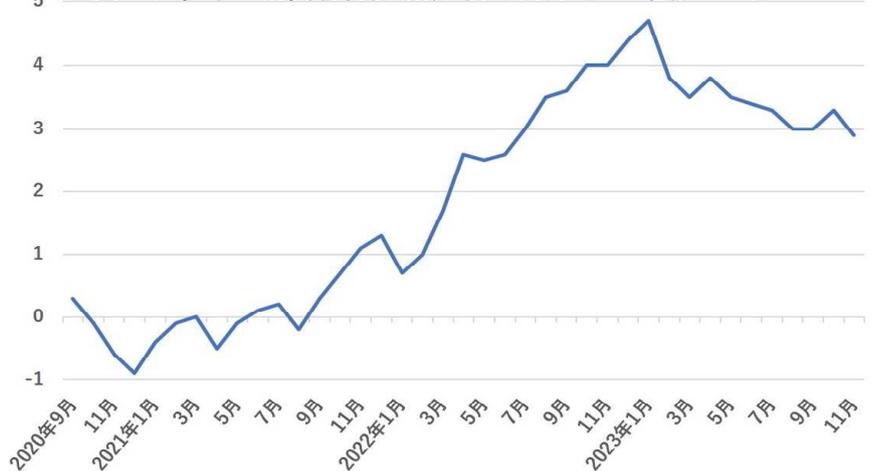
図2の前年同月比の推移を見ると、上昇率は鈍化しているが、日本銀行が掲げる物価目標の2%を上回っている。

表1は、「品目別中分類」の消費者物価指数で、2020年を100として2023年11月の水準を表している。食品や身の回り品などのモノの価格が上がっている一方で、通信や教育、理美容、保健医療などのサービスの価格は上昇していない。

■図1 浜松市の消費者物価指数の推移 2020年=100



■図2 浜松市の消費者物価指数 前年同月比の推移 単位:%



■表1 浜松市の中分類指数 2023年11月

魚介類	134.3	通信	74.5
他の光熱*	132.3	授業料	88.9
寝具類	127.6	教育	94.9
履物類	125.4	理美容	97.2
消耗品	121.1	保健医療	98.4
耐久財	120.8	上下水道	100.0
菓子類	119.9	家事サービス	101.0

*他の光熱: 電気ガス以外

2020年 = 100

乗用車の保有台数 静岡県:223万台、1世帯当たり1.36台

(一社)自動車検査登録情報協会によると、全国の令和5年3月末の乗用車(軽自動車含む)の保有台数は、61,953,135台で、静岡県は2,229,937台となっている。

1世帯当たりの台数は、多い順に福井県が1.70台、富山県が1.64台、山形県が1.63台で、静岡県は1.36台となっている。

■表2 乗用車保有台数

1.愛知	4,222,206
2.埼玉	3,242,924
3.東京	3,143,196
4.神奈川	3,069,403
5.千葉	2,849,049
6.大阪	2,797,129
7.北海道	2,795,287
8.福岡	2,643,985
9.兵庫	2,322,190
10.静岡	2,229,937
-----	-----
全国	61,953,135

■表3 1世帯当たり台数

1.福井	1.70
2.富山	1.64
3.山形	1.63
4.群馬	1.58
5.長野	1.55
-----	-----
19.静岡	1.36
-----	-----
30.愛知	1.23
-----	-----
43.兵庫	0.89
44.京都	0.80
45.神奈川	0.68
46.大阪	0.62
47.東京	0.42

*表2の「乗用車」は、車種別自動車保有台数(「乗用車」「貨物車」「乗合車」「特殊車」「二輪車」)より 都道府県別 台
 *表3は、総務省の令和5年1月1日住民基本台帳の世帯数より計算 都道府県別 台

図3は、静岡県内の自家用乗用車の保有台数と世帯数の、昭和48年から令和5年までの推移である。

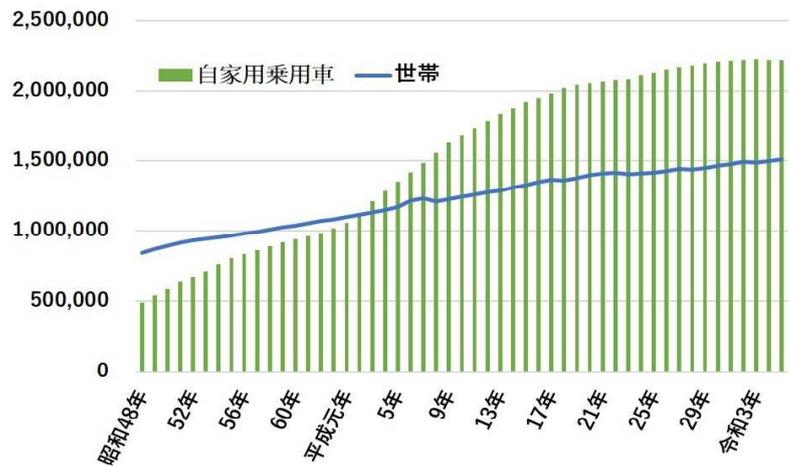
平成2年に保有台数が世帯数を上回った。

図4は、昭和48年から令和5年までの自家用乗用車の保有台数の対前年比の推移である。

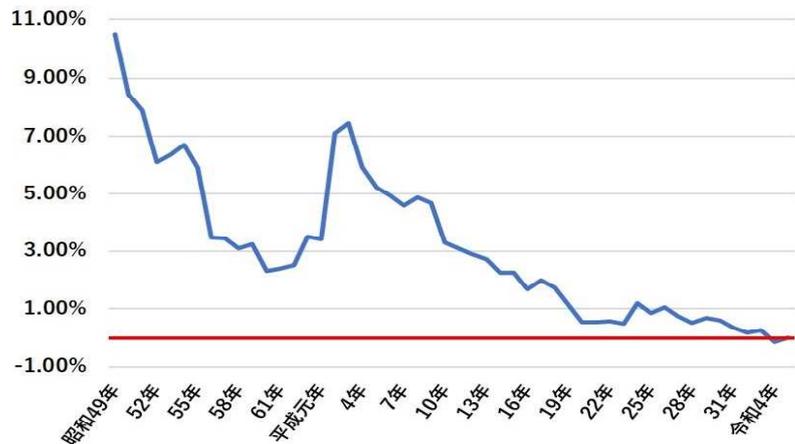
平成20年以後の保有台数の対前年比は1%を下回るわずかな増加で推移していたが、令和4年からマイナスに転じた。

*図3・図4は
静岡県自動車保有台数調査による

■図3 自家用乗用車 保有台数と世帯数の推移 単位:台、世帯



■図4 自家用乗用車 保有台数 対前年比 単位:% 静岡県内



← バックナンバー 2023年12月25日執筆

***** お問い合わせ *****

西川公一郎 ((一財)日本総合研究所 客員研究員、防災士、元浜松市議会議員)

浜松市南区 在住 ko-ichi@24kawa.org